

日本のコーポラティブハウス 半世紀

実践者が語るいまとこれから

コーポラティブハウス50周年記念イベント

コーポラティブの

これまでと

これから

住田昌二
山下和正
平家直美

ユークロート居住者

山下和正建築研究所

大阪市立大学名誉教授

伊藤正
柴原究
天宅毅

キューブ

コプラス

ゼロワンオフィス

部

伴年昌

ヴァンズ

部

#5

全6回

2022.6.28 / 19:00-21:00

¥3000(全6回)

わが国最初の コーポラティブハウス

千駄ヶ谷コーポラティブハウス
1968年・4戸・渋谷区
山下和正

• OHP No.1
1974年・6戸・杉並区

• コーポラティブハウス柿生
1975年・65戸・川崎市
サンケイハウジングセンター

• コープ水道社
1976年・4戸・世田谷区
DAN建築設計事務所

• 堂の楯フレッシュタウン
1977年・16戸・町田市
自主建設促進協会

• コーポ高橋
1978年・44戸・日野市
集住協

官公による マスメハウジングからの脱却

• ヴェルデ秋葉台
1990年・116戸・多摩市
都住宅供給公社+現代計画研究所

• アーサヒルズ
1992年・118戸・神戸市
住宅都市整備公団+COM計画研究所

• コープタウン松が谷
1984年・7棟142戸・多摩市
東京都住宅供給公社

• ノナ由木板
1993年・252戸・多摩市
都住宅供給公社

• あじろぎ横丁
1993年・17戸・京都市
居住者集団+京都建築研究所

• Mポート
1992年・16戸・熊本市
津浦もやい住宅+延藤安弘

• ユーコート
1985年・48戸・京都市
家づくりの会+延藤安弘

• コミュニティコーあるじゅ
1993年・13戸・葛飾区
象地域設計

• ネイキッドスクエア
1999年・31戸・豊屋川市
大阪府住宅供給公社+ヘキサ

• ヴィレッシュ浄瑠璃14
2004年・14戸・八王子市
FUSION夢見隊

• コミュニティハウス法隆寺
2004年・8戸・現地町
安寿ネット

• 里山長屋
2010年・4戸・相模原市
ビオフォルム環境デザイン室

• みんなの家
2006年・7戸・横浜市

• きのかの家
2006年・30戸・町田市
アンビエックス

• たつこのこぼろ龍ヶ崎シニア村
2007年・29戸・龍ヶ崎町

• 中崎吉町コーポラティブ住宅
2007年・6戸・岡山市
VANS

• コーハウス喜多見
1998年・14戸・世田谷区
喜多見コーポラティブハウス建設組合

• つなね
2000年・23戸・奈良市
つなね建設組合+VANS

• 経営の社
2000年・12戸・世田谷区
チームネット

• マインス新芦屋
2012年・7戸・吹田市
VANS

• リノア元住吉
2011年・24戸・川崎市
リビタ

• 求道学園リノベーション
2007年・11戸・文京区
アークブレイン+集工舎

• COMS HOUSE
2002年・11戸・千代田区
としまち研

• スクワール見樹院
2010年・16戸・文京区
アンビエックス+としまち研

• 都住創カレンズ
2000年・12戸・大阪市
としまち研

• 都住創大手前
2001年・49戸・大阪市

• 西麻布CO-HOUSE
2005年・21戸・港区
としまち研

• こぼす
2012年・17戸・千代田区
としまち研

• 九段千鳥ヶ淵テラス
2014年・24戸・千代田区
としまち研

• 大岡山ハウス
1995年・14戸・目黒区
都市デザインシステム

• 吉祥寺ハウス
1995年・8戸・武蔵野市
都市デザインシステム

• 松濤コートハウス
2001年・6戸・渋谷区
アーキネット

• J-Jalley
2001年・11戸・目黒区
ゼロワンオフィス

• スクウェア六甲
1999年・12戸・神戸市
キューブ

• O-CUBE
2003年・19戸・杉並区
としまち研+タウンクリエーション

• ティセット湯が森(被災建替え)
1998年・7戸・神戸市
キューブ

• 現代長屋TEN
2003年・10戸・大阪市
CASEまちづくり研究所

• 富里コーポラティブヴィレッジ
1999-2006・140戸・富里市
都市デザインシステム

• Jコートハウス
2007年・27戸・北区
象地域設計+としまち研

• OGGI
2012年・19戸・杉並区
タウンクリエーション+コプラス

• 三田伊血子坂ハウス
2012年・16戸・港区
コプラス

• a-blanc
2015年・13戸・世田谷区
ゼロワンオフィス

• tradica
2011年・11戸・武蔵野市
タウンクリエーション

• なな彩コーポ
2015年・7戸・京都市
もえぎ設計

• HANEGI
2019年・10戸・世田谷区
NENGO+トライクコンサルテイング

• MEGURO HAUS
2020年・9戸・目黒区
NENGO+トライクコンサルテイング

• 宇多野コーポラティブハウス
2010年・13戸・京都市
キューブ

住まい手による「発明」

住まい手主導のコーポラティブ

コーポラティブによるリノベーション

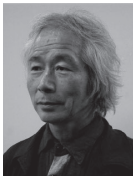
都心に住む

企画者主導・ビジネスモデル

コーポラティブハウス 50年の系譜



伊藤正：一九八九年大手セネコンを経てゼロワンオフィス一般建築士事務所設立。個人クライアントの戸建て、共同住宅などの設計監理業務に加え、一九九九年よりコーポラティブハウスの企画、設計、コーディネートも手掛け現在に至る。一九五九年生。



伴年昌：設計事務所VANSを主宰しながら、85年からコーポラティブハウスに取り組み。市街地RC中層型から01年、RC木造つむねの「コーディネート」を木造の転換期としてとらえ、小規模木造低層コーポラティブハウス住宅にねらいを定めていく。一九四五年生まれ。



平家直美：コーポラティブハウス「ユート」に37年居住している。ユートIIの建設プロジェクトでは建設組合の建設部長として、ユザI側の要望を取りまとめる役割を担った。共著『マンションをふるさとにしたユート物語』一九五三年生まれ。



山下和正：日建設計、大ロンドン市建築局勤務を経て、一九六九年日本と正建築研究所設立。一九六八年に日本初のコーポラティブハウスである「千駄ヶ谷コーポラティブハウス」を手掛ける。主な作品に「アムファーストビ」数寄屋橋交番など。一九三七年生まれ。



住田昌二：大阪市立大学名誉教授。「全国土の都市と農村の住宅供給を捉える」ルネサンスウジック論研究にもとづく現代ハウジング論史の多角統一的編纂による学術的貢献により二〇二二年日本建築学会大賞。一九三三年生まれ。

コーポラティブの これまでとこれから #5 日本のコーポラティブハウス半世紀 — 実践者が語るいまとこれから



● 登壇者紹介
天宅毅：大手不動産デベロッパーを経て、一九九六年(株)CUBEを設立。阪神淡路大震災の復興でコーポラティブハウスを採用し、現在もコーポラティブハウスを継続。事業を通じて定期借地やテラスハウス、一団地等様々な可能性を探る。一九四四年生まれ。



● 本イベントについて
コーポラティブハウスの歴史を顧みると、時代や経済動向、住生活者のニーズによる変遷が見て取れる。本シンポジウムは複数回に分けて、時代や目指した住まいのかたちに応じて分類して行うこととした。各回、代表的なプロジェクトに関わった関係者をお招きし、振り返るとともに、コーポラティブの未来を展望する。

● お問い合わせ
NPOコーポラティブハウス全国推進協議会事務局
東京都千代田区神田東松下町33 COMS HOUSE 2F
03-6206-4558 / mail@coopkyo.gr.jp

PePeeにてお申し込みとなります。
料金：三〇〇〇円(全6回)
詳細：http://coopkyo.gr.jp/

